

# 施設建設資金に

23〜25日 現代国際巨匠絵画展(延岡総合文化センター)

## ひかり工房 開所15周年、今秋着工

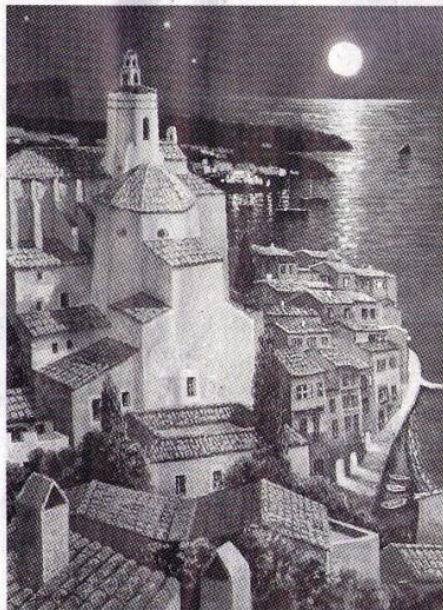
「現代国際巨匠絵画展」が、23日から25日まで延岡総合文化センター展示室である。障害のある人が共同生活するケアホーム・グループホーム建設の資金つくりが目的。延岡市古川町の障害者就労支援事業所ひかり工房(矢野光孝所長)を主体とする同実行委員会(実行委員長＝矢野所長)が企画した。入場無料。開場は午前10時から午後6時まで。

ひかり工房は平成9年1代後半から60代の40人が「牛乳パックリサイクル」2月に開所し15年目。10「通い、食品加工、木工、一軒印刷などの生産活動を



【フランシスコ・ポツ シュさん】1948年

生まれ。セント・ジョー ており、その作品はマルティ美術高等学校卒業で「色の刺しゅう」。業。同校で出会ったヒ モチーフは海が多く、ラー・テルさんと71年 ほかに花や室内の静物に結婚した。作品の中 も描く。心の安らぎと心はハステル。混ぜ合 温かさにあふれた日常をテーマに描いてい



「カタケスの夏の夜」(ハステル、75×55センチ)

通じて就労訓練をしてい

利用者の保護者は高齢化しており「親亡き後の子供の生活が不安」との声が増えてきたため、同

工房の近くに、ケアホーム(重度対応)とグループホーム(軽度対応)両方の機能を持つ施設(定員6人)の建設を計画した。

今秋着工、今年度中の完成を目指している。建設費の4分の3は国からの助成が受けられる。

スベインの画家フランシスコ・ポッシュュさんとヒラー・テルさん夫妻を招き、2人の作品を主体に世界の有名作家の作品120点以上を展示す



【ヒラー・テルさん】

1950年生まれ。セント・ジョルディ美術高等学校卒業。人物も動物もふくよかに、しなやかに表現する。遊



「花香る」(油彩、25×25センチ)

藤度日あり倫

。「資金調達だけが目的ではなく、国内外の巨匠の作品を鑑賞していただくことで感動と心の触れ合いを呼び、地域づくりの一環になればうれい。ひかり工房で作っている商品の販売や活動紹介もあるので、気軽に「来てください」と呼びかけている。

ボッシュュさん夫妻のサイン会  
期間中、毎日3回  
毎日午前11時、午後2時、同4時に夫妻のサイン会がある。  
問い合わせは同実行委員会(☎延岡34・1338)へ。

家は次の通り。  
ピカソ、シャガール、ミロ、ユトリロ、ローランサン、ピュッフェ、ス Pens、丁紹光、ハットフィールド、ボナフェ、マッケンジー・ソープ、東山魁夷、平山郁夫、石踊達哉、伊藤哲、原宏之、中島千波、森清範、いわさきちひろ。





## 世界の巨匠の絵を間近に

ひかり工房が主催

著名作家約120点を展示 25日まで延岡

展「現代国際巨匠絵画」が、きょうから延



交流会で利用者とスタッフが描いた虹の空の絵に描き加えるボッシュ夫妻(ひかり工房で)

岡総合文化センターで始まった。25日まで。開場は午前10時〜午後6時。スペインから招待したフランシスコ・ボッシュ、ピラー・テル画伯夫妻をはじめ、ピカソ、シャガール、東山魁夷、平山郁夫ら著名作家の作品約120点を展示販売している。入場無料。

延岡市古川町の障害者就労支援事業所ひかり工房(矢野光孝所長)が、ケアホーム・グループホーム建設の資金づくりを目的に開いた。著名作家の作品を間近に鑑賞できる機会です。

ピラー・テルさんの作品を鑑賞する来場者

もあり、会場には初日から大勢の人が訪れた。遠目に眺めた後、顔を近づけてじっくりと見詰め、精緻な筆遣いや絵の具の質感などを楽しんでいた。

ひかり工房で作っている菓子や手芸品などの販売もある。期間中、午前11時、午後2時、同4時にはボッシュ夫妻のサイン会がある。

### 画伯夫妻と交流

きのうは、ひかり工房の利用者(40人)と夫妻との交流会があった。近くの松山保育園の園児17人も参加した。

利用者と園児が事前に描いて用意した3枚の絵の中央にそれぞれ夫妻が描き加えた。

建設するケアホーム・グループホームには「にじ」と名付ける予定。それにちなみ、絵の1枚には虹と風船を描いていた。夫妻はスペイン語で「EL ARCO IRIS」(虹)と書き、雲から落ちる雨粒とそれを照らす太陽を描いた。

サインと日付を入れて完成。会場は拍手に包まれた。この絵は完成したケアホーム・グループホームに飾る予定。